



SSKS

「ほっとスペース八王子」ニュース

ほっと

2015年2月号
147号

定価100円

編集人
HF電 042-628-2319
E-MAIL: A X 話
HP: URL
郵便振替所
facebook

八王子市八幡町一三二-15
「ほっとスペース八王子」(事務局:堀部正)

042-628-2319
042-620-2700
http://homepage2.nifty.com/hotSPACE/
CXB01672@nifty.ne.jp
00180-8-939512「ほっとスペース八王子」
世田谷区砧六二二-111 障害者団体定期刊行物協会
https://www.facebook.com/hachioji.hotSPACE

CONTENTS

八王子まつり	・・・2頁
MONSTER/キャロル/山口咲子	
アキラさんのお楽しみコンサート	・・・3頁
山口咲子/P. 6000トンチスト/孫悟麴	
長崎研修旅行レポート	・・・4頁
P. 6000トンチスト	
昇仙峡日帰り旅行	・・・10頁
山口咲子/キャロル/ほっとスペースのボブ・ディラン/ P. 6000トンチスト	
衆議院議員選挙	・・・12頁
ほっとスペースのボブ・ディラン/山口咲子/キャロル/ P. 6000トンチスト	
2014年望年会	・・・15頁
M. O/ほっとスペースのボブ・ディラン/キャロル/山口咲子/ P. 6000トンチスト/孫悟麴	
東京農大収穫祭	・・・18頁
キャロル/孫悟麴	
文学フリマ・ほっとスペース納会	・・・19頁
P. 6000トンチスト	



八王子 祭

例年八王子で一番暑い夏

MONSTER



八王子まつり、今年8月、1日、2日、3日の三日間おこなわれました。八王子まつりの前日、八王子まつりの準備をしました。1日、夜、八王子まつりの受付、雨で大変でしたが、お囃子を聴きながら、楽しみました。2日目、午後、山車曳き回しをやりました。夜も、山車を曳きました。最終日、午後2時から、暑い中、山車曳きまわしをしました。夜、クライマックスのお囃子が、盛り上がりしました。毎年、八王子まつりは大変ですが、楽しかったです。

来年もぜひ行きたい

キャロル

八月二日、三日に街に出ると、八王子まつりをやってました。放射線通りの（西）を歩くと、氷の彫刻が飾ってありました。前の日に作っていたものらしく、作っている所を見られなかったのはちょっと残念だったけど、でも彫刻は、とてもきれいで、涼しそうでした。

特に何を買うという事はなかったのですが、いろいろな屋台が露店に出ていて、とても目を楽しませてくれました。三日には、甲州街道が通行止めになって、民謡流しをやっていました。入念に練習していたみたいで、とても流れるような踊りでした。来年も見に行けるようにしたいです。

八王子まつりとは

江戸時代から続く山車祭りとして、1961年に行われた「3万人の夕涼み」を端とする「八王子市民祭り」が1966年に融合し、1968年に現在の「八王子まつり」という名称になりました。2010年に50回記念まつり、2011年は震災の影響から中止されました。現在は山車の曳き回しを中心とした伝統的な祭りの構成となっています。多賀神社を氏神とする上祭り、八幡八雲神社を氏神とする下祭りが別々に行われていましたが1968年に融合しました。19台の山車が参加し、うち13台は市の文化財に指定されています。



山口咲子

氷の彫刻は、数年前に始まったそうです。

八月一日（金）、いつもなら絵画教室と聞こう会をやる予定だったのを変更してほっとのメンバー数人で、八王子まつりを見に行くことにしました。八王子で暮らすようになって長くなりますが、相変わらず甲州街道に沿ってたくさんのお店が並んでいました。最近では見たことのないような食べ物や屋台もありますが、私は夜店で何かを買って食べたという事はありません。甲州街道を抜けて西放射線通りに入ると、氷の彫刻を造っている所を丁度見ることができました。鑿と金槌だけでよくもあれだけの繊細な彫刻ができるものだと感心しました。その後何事もなかったかの如くほっとに戻り、日報を書いて帰りました。

便利な

夏休み「お楽しみコンサート」

チケット屋さん

の切符

アキラさんの

山口咲子

八月五日、ほっとスペースはいつもより早い昼食でした。急いで八王子駅に行つて、チケット屋さんで新宿行き切符を買いました。自動券売機や、パスモやスイカで行くより安いことに初めて気が付きました。でも一人で出

かけるときは、利用しないかもしれませぬ。一行は一路池袋へ。東京芸術劇場へ、コンサートを聴きに行きました。

指揮者の人がとてもノリノリで、それを邪魔する赤い髪の女の人のかけあい面白かったです。でも、どんな曲を演奏して…というのは覚えていません。

終わったあと、サイゼリヤでみんなと感想を言い合ったり、一服したりして帰りました。

しっちゃかめっちゃか

だけと楽しかった

P. 6000 (トンチスト)

行って帰ってくるだけの満足には思えぬ、寂しいコンサートでした。と、いうのは冗談で、笑えました。アキラさん、演奏しながら横で勝手に踊ってダンサーが、アキラさんの指揮棒を



NHK・Eテレでおなじみ宮川彬良さん

クバーは、お茶や甘い水などがありました。コーヒーを締め一杯頂きました。また、余談ですが、月一の外出デーは、月一とは言わずに、招待される機会あれば以前の月二以上でまた組んでいただきたい。僕のほっと参加上限の8日は、考え物ではありますが。

告知する喜びがほっとの外出デーの良さです。ご足労かけますが、ぜひほっとの活動見学を当事者の皆さんにお知らせしたいですね。

会場の東京芸術劇場 (池袋)



行つて帰つてくるだけの満足には思

えぬ、寂しいコンサートでした。と、

いうのは冗談で、笑えました。アキラ

さん、演奏しながら横で勝手に踊って

ダンサーが、アキラさんの指揮棒を

はもうめっちゃくちゃでした。

演奏会はギャグでした。ただ、楽器

類に愛着を持ちました。

ああ、そつでした、楽器つながらで、

僕の地元の草笛サークルを思い出し

ました。吹かねば。

帰りにみんなでレストラン「サイゼ

リヤ」に行きました。禁煙席より喫煙

席のほうが席が見つかったので、喫煙

席に7人くらい陣取りました。ドリン



東京芸術劇場大ホール

大人も楽しめる深い選曲

孫悟麴

8月5日、ほっとで早い昼食を摂った後、コンサートを聴きに行くために池袋は芸術劇場へと向かいました。

アキラさんこと宮川彬良氏は、本名は晶、作曲家の故宮川泰氏が父、ヴァイオリニストの由利子氏が妻という音楽一家です。服部家もそんな感じですね。

夏休みのお楽しみコンサートは恒例行事みたいで、クラシック音楽を親しみやすいイベントにしています。「クラシックを身近に」というコンセプトのイベントは、ゴールデンウィーク中



クラシック音楽の「聖地」ウィーン楽友協会ホール



「情熱の日」メイン会場の東京国際フォーラム

の「La folle journée au Japon(情熱の日)」が有名ですが、アキラさんはその前からやっているみたいです。ただ、帰ってから検索をかけたのですが、今回のコンサートの詳細のあるサイトがなく、思い出せば白昼夢のような、そんなコンサートでした。

夏休みということを考慮しても平日の風間とはいえ、ものすごい観客数でした。ほぼ満席とっていい感じでした。値段も、ウィーンフィル日本公演のS席35000円、一番安いD席でも13000円と比較すればその10分の1程度と手頃な値段でした。

(三井住友海上管弦楽団もそのくらいの値段で聴けるので、クラシックを聴きに行くというのは実は案外敷居の高いものではありません)ちなみに、ほっとでは善意銀行さんの厚意で無料です。

が。内容はどういいますと、最初の

曲はアキラさん本人の曲みたいです。そして掃除婦みたいな恰好の赤い髪のダンサーが入ってきて、アキラさんとコントのようなことを始め、その間も演奏は続く…といったなかなかシユールな絵が展開されていました。こういうコンサートにありがちなプリテンやプロコフィエフなどといった人の作品

はなく、なかなか子供向けにしては深い選曲だった感じでした。理事会や長崎旅行が後に控えているタイトな日程だったのですが、このときはまだあまり疲れていませんでした。これが後に生命に関わる病を得ようとは…思わなかったので、煙草を吸いながらサイゼリヤで感想会なんてしていられたものだと思います。

長崎研修旅行レポート

「長崎研修旅行」レポート

P. 6000(トンチスト)

このテーマを選んだキッカケ

「長崎研修旅行での「思いやり」事前調査」と題しまして、僕がなぜこの「おもいやり」に着目したのかは、ある日の帰りがけ、中央線ホームで安兵衛さんの「君は思いやりがないね」との発言でした。

僕は「それならそうと「思いやり」がある人」になろう」と思いやりを見つ

ける意味でこのテーマを選びました。「おもいやり」とはネットのgoo辞書から拝借・引用します。

1 他人の身の上や心情に心を配ること。また、その気持ち。同情。

「一のある処置」「病人に対する一がない」

2 想像。推察。「奥山のーだに悲しきにまたあま雲のかかるなになり」へ「げろふ・上」

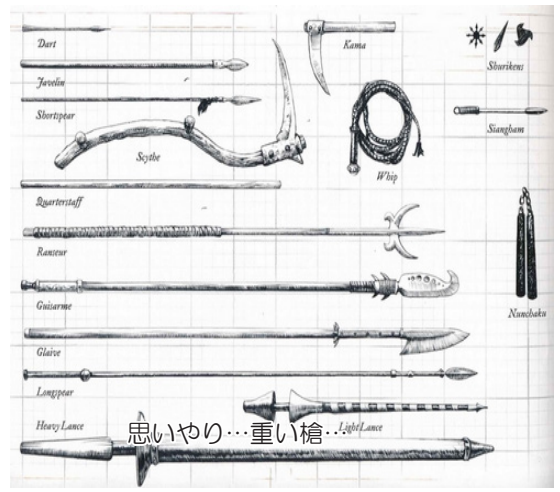
3 思慮。分別。「ことに責むれば、若き人の一少なきにや」へ堤・花桜をる少将

と、なります。ただし、お分かりいただけでしょうが、使用例から見ると、

徳川幕府が15代も続く鎖国(さしこく)しまくって平和だった300年。その徳川を薩摩(さつま)・長州(ちやうしゅう)・土佐(とさ)・肥前(えいぜん)の下級武士たちが潰(つぶ)しました。明治維新以降絶えない戦争に僕は、調印する時は話し合いで済ますのに、なぜ話し合(あ)いで済(す)まないのか、こ(こ)ういった状況に労(いた)わろ(わ)う(う)という気持ちを持ちました。

1、日米双方の思いやり

3は古語の意味です。もし、古語が現代語であれば現代語で例題を出すはずですね？ですから、僕が思う思いやりは、現代語では「1」がふさわしいのだと捉えられるはずですよ。さて本題に移ります。



徳川時代が去り、文明開化の明治に入ると西洋文化に影響された文化などが生まれました。近代化に向け急ぎ足で、富国強兵とし、富岡製糸工場のような軽工業から戦争を通して八幡製鉄、三菱などを始めとした重工業へと進化していきました。そして、途中で戦争をやめられなかった日本は、次第に、アジア侵略を深め日清・日露戦争、日中戦争、太平洋戦争へとコマが進んでいきました。日本は、元々、資源がありませんでした。日本は、資源を求めて朝鮮、中国、東南アジアへ向かいました。しかし、米軍の強力な軍力の前には、沖縄まで戦渦になり、日本兵が同国民である少年をスパイ扱いにし、被弾多数犠牲者が出ました。さらに集団自決という選択も余儀なくされ、僕は「戦争とは誰の手でも止められないこと」にも

長崎特集 修行旅行

どかしくなりました。最後には広島・長崎に原爆を落とされ、無条件降伏となり昭和天皇の終戦ラジオ放送で戦争が閉幕し日本は敗戦しました。僕は、図書館で自分に合う本を探して東京の或る市内を東奔西走します。が、残念なのは、何より明治・大正・昭和の作家が筆の力で戦争を止められなかったこと。武力が勝る時代に生き、作家の心境を知ることこの場を借りて「思いやり」という形で、戦争を通した双方の苦難を作品にできたらと筆を取りました。

戦争に思いやりって……。でもあったようです。テレビで拝見しました。話しが前後します。あれは第一次世界大戦でしたか、1914年の西欧でクリスマス休戦というのが一時ありました。ある一方の将校らが敵地に食料を投げ込んだり、歌ったりして敵意を表さぬという方法で友好的なムードを表したそうです。

東西分かれていた争いがなんとクリスマスだからと敵味方関係なくサツ

カーを やった そうで す。思 いやり ありま すよ ね。人 間なん だし。 守るベ き家族 がいて みんな 心配し ているんだ。共存できないかかって僕は思いますよ。痛いのは嫌だよ。そして、残念ながら、この休戦は、最初で最後のようで、クリスマスを毎年迎えても戦争が治まる気配はなかったそうです。

現在は聖地を争って宗教戦争が勃発しています。崇拜する神がいるってのは、人間が作り出した三大宗教の落とし



グラバー亭で集合写真 2014/08/07



し穴かな。できれば、三大宗教を統一するような神が出てきてほしいですね。

アメリカは敗戦の日本に友好の印しで親を亡くした女の子に「青い目の人形」を贈りました。でも、日本人は気持ち悪いと大半、贈られた人形を焼いたそうです。アメリカは慰めのつもりでしたでしょうが、何でアメリカ人形なのか、被曝した日本人なのに日本人が受当でしょう。親を亡くした日本人は日本の血が流れています。

僕としては人形よりも、進駐軍から

P. 特集 長崎研修旅行 6000さんのレポート



8月8日原爆資料館前で集合写真

の「ギブ・ミー・チョコレイト」ですね。負けた日本は焼け野原となり、雑草しか生えていません。甘いものに飢えていて、親から甘い歯磨き粉をねだる疎開した少年がいたそうです。解る気がします。

もし日本地図が書き換えられたら、今ここにいる僕は今と違った人相で生まれるか、もしくは生まれてこなかったらどうなとも思いますが。過去を経て現在の僕らは出会いました。今を生きる僕らは後世にもあの日は

良かったと回想してくれる、日を紡ぎたいです。もう間違った方向には進まないで頂きたいですね。戦争反対！

2、ほっとのメンバーたち 思いやり

8月7日、旅行初日。早朝ラッシュは無く、安兵衛さんを除くメンバーが、集合時間(9:00、京王八王子駅)に集まりました。みんな元気そうでした。良かったです。

まず僕、大平、「素」。昨年11月にほっとへ入所しました。

長崎初参加。車内でラノベ(ライトノベル・若者向けのファンタジーなどの文庫本)を読んでいます。

本来は「アンネの日記」など戦争についての文献を読むべきでしょうが、せめて長崎の地図でしょうか。

新宿に近づくに連れて先頭車両にいた僕らの周りは、混み出しました。高齢者に席を譲るほっとのメンバー。数人で譲りました。思いやりある行為でしょうが、自分を犠牲にして迷惑かけたら思いやりではなくなってしまうそうです。優しさはあるでしょう。受け

答えられる環境を生むのが僕らの使命でしょうか。



グラバー邸からの景色は最高！

今回もビデオ担当です。疲弊(ひへい)して満足に撮れなかったグラバー邸、長崎総合福祉会館。

「習うより慣れよ」の方針があり、その場その場で操作を所長から必要なスキルを覚えて撮影しています。今回はビデオを搭載した三脚の扱い方でした。発表者のアングルは中央がいいだろうとか自分で工夫しましたが、距離があってズームかワイドか、手元が狂ったりして思うように録画できませんでした。

リネカーさん、「蹴」。初日の羽田空港。フライトまで時間が有り、本屋で雑誌を見て回りました。リネカーさんが寝食を忘れるほど夢中な知名度が高いサッカー雑誌はありました。ヒモが



十字に縛られてあり閲覧できませんでした。僕の卓球雑誌は見当たらず、少し残念でした。並ぶ為の知名度を上げる雑誌の輩出に努力しなくちゃな、そう思いました。

風食と一緒に摂りました。僕は夏野菜うどん。オクラ、ネギ、なめこ、枝豆、……。コシが強い麺でした。こういふと失礼なのですが、空港の食事にこれのどこに思いやりがあるのか。余りものの寄せ集めでしかないような具材でした。

Fさん、「米」、羽田のフライトから夕方4時に着き、思案橋のホテルに宿泊しました。2泊3日のルームメイトでした。最初から最後まで僕はFさんにご迷惑をおかけしました。ごめんな

さい。僕がFさんに「大丈夫ですか?」「(迷惑気味に)大丈夫ですよ!」何か僕に声かけられるほど余裕があると、Fさん。僕の声かけがまずかったです。「大丈夫ですか」↓「お元気ですか?」のほう人が当たりがよく聞こえますよね?言葉は選ぶものだと、人生、勉強そう思いました。その上、Fさん、判断力がすごい。

「ホテルのロビーでくつろいでいた海外の方は英語には聞こえなかったわよね……」とMさん。そこでFさんが「長崎は出島もあるし、オランダ人ではないか」という推理判断にみんな関心を寄せましたね。目的をどう考えたらいいか、僕は自分のことで精一杯なので、舌を巻きました。圧巻です。

A理事長、「導」。健常者です。今年このほっとの総会の際に、初めてお会いしました。理事会では、所長を中心にほっとと、よくスカイプで討論されています。今回、長崎でお会いしました。なぜ理事長のみが九州にいるのか、僕の母は「どうして?」とよく僕に聞きます。僕は知りません。

なぜでしょう、所長?

理事長が長崎総合福祉会館で僕らを待っていました。理事長は発言者ではなかったのですが、毎年、所長らを招いています。もっとも長崎を長く知る

方です。僕には「ほっとの一員でめげずに元気出して」と背中を押されました。まんざら悪気はなく僕としてはせっかくの出会いだし、周りにも自分にも「+」^{プラス}であればいい。長崎の旅は三日間でしたが、日本を知るきっかけをつかんだ、いい刺激になりました。

慰霊遺構巡りで、理事長は、各所案内してくださいました。永井隆記念館、患者を治療する姿が写真に納まれました。戦時中、医療器具を献上し、自ら、放射線を浴びてしまい、40代の若さにしてその生涯に幕を閉じました。浦上天主堂は、原爆で鐘が落ちたままで、Y小学校には避難場所確保に防空壕が三つあり、戦後にできたようにどれも同じように掘られています。時間に余裕がないはずなのに、丁寧に均等に作られていたので、ただ掘ればいだけでなく、図面や設計図が



在りし日の永井隆博士

頭の中にあつたのでしよう。続いて、Mさん、「転」。明るく元気な健常者です。昨年の9月に入所された職員さんです。ほっとではいつも事務に追われていて、所長と衝突する時もあります。現地での所長の対応に企画・提案、みんなをまとめる気が利く見習うべきまともな方です。長崎、路面電車の乗車集計係をしてくださいました。お気づかいくださる優しい方です。カメラで写すのにも僕は三脚持ったのにMさん独り、写さないでかわいそうでした。周りに心配り、するように見受けられたMさんは、独りでみんなをまとめるので、所長も見習って欲しいと思いました。

浦上天主堂 被爆した聖人像



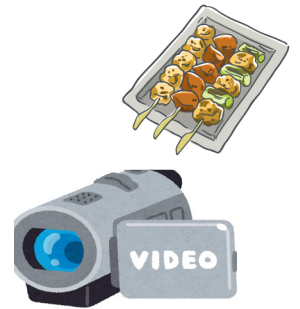
浦上天主堂 被爆した聖人像

特集 長崎研修旅行



爆心地公園の碑を前にして

です。僕も役立って嬉しかったです。咲子さん、「紅」、ほっとの常連さんです。ほっとの人にならぬ約十年前にほっとに参加した女性の先輩で、女性に年が、たぶん、障害者で初めてなのはお前ですか。所長は「明るく楽しく学ぼう」をモットーに(僕だけでしょか?)病気に負い目を持った僕は疲



年齢を聞くのは失礼なので控えめですが、健脚。集団行動

れて孤立した感覚に襲われるので自分が嫌になります。しかもビデオ当番である僕が撮り損なうつむいていたら、「それほど大事な話ではないよ、次回やればいいじゃないか」と振り向いてそっと話しかけてくださいました。僕は人の喜ぶ顔が一度でも多くみたいそんな旅でもありました。

3、思うやうに

まえがき 聖書を読んで

僕の長崎のイメージというよりそもそも、僕は日本を知らないそんな日本人です。小耳に挟んだのは、長崎には出島があり日本とオランダと中国の海外貿易をしていて、キリシタン大名の島原時貞、キリスト教が盛んだというくらいでしょうか。幼少時の僕は父と

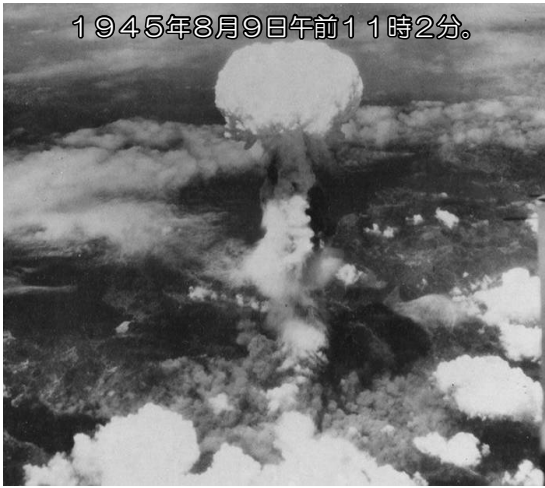
都内の地元、教会へ先人の知恵を学びに参加しました。キリスト教は聖書を読みます。聖書には人間関係を円滑にする先人たちの知恵が、工夫が描かれています。例えば、ある漫画には、ある人は高台で家を立て、あるお金持ちは高台だと上り下りする大変だと川沿いに家を建てようとする金持ちがいまいました。ですが、お金持ちの家は水に飲み込まれてしまいました。「どんなに苦労があっても、災害、災難に遭うのを予測する力が必要でした」。これと同じように、僕らも学ぶべき聖書や長崎に誰もが読み継がれるような活動をほっとでできたら幸いです。

本題 長崎の小学校で...

8月8日。原爆資料館へ参りました。実物大の原子爆弾を観察しました。3mは優にある。ボックスカー(B-29)から投下されたファットマン(原子爆弾)。それはそれは大きかった。真珠湾での仕返しを日本軍へ報復、アメリカ国民のメッセージが詰まっていたことでしょうか。話し合いで済ませて欲しかったです。

平和集会へ参加しました。記念碑周辺には参加者も多く、あちらこちらで話し合いが行なわれていました。あの独





特な手腕と座位の青銅色の銅像を拝見しました。寄贈された銅像がブラジル、ドイツなどありました。日本だけが主張する場ではない、全世界が関心を持つ核廃絶を問う前集会有りました。

8月9日。浦上天主堂入参りました。ミサは行なわれていませんでした。講堂の中はまっくらで、外の光がさし座席に映る、ステンドグラスの青、黄色など鮮やかでした。休日でもこつこつした工夫配慮がある、神様はいつも僕らを見守っていてくれるんだと、どんな人種に誰にも開かれている雰囲気は優しくありました。

講堂にはスタンプが用意されています。インクが紙にノリが悪いと思ひ、僕ら以外、誰も会場にはいらっしやらないし、乾いて写りが悪いと思ひしたので「ダ

ン、ダン、ダン」と大きな音を立て押し付けたので、「そつと、押し付けねばいいよ」所長も理事長も言いました。

最後にY小学校へ行きました。女性保護者に「ほつとのメンバー」に眠っている人がいるのが悪いと、責任者は誰かと伝えられて安兵衛所長に校門前の庭で話し始めました。僕は飛行機の便に乗り遅れそつでした。そこでこの保護者が別れ際に「小学生のみんなはまじめにやっていますー精神障害者だからって許されません！」と捨てゼリフをこの保護者に吐かれたので、僕は腹が立ち反射的に感情的に「俺だつて真面目だよー」とおつと返しに答えてしまひ、一目置いて毅然と「(毎年来ているのに)長崎に思いやりはないのかー」といつてやりたかったです。僕は悪くないです。「こつこついいわなの、せつかくの關係がうまく言つたんだから」と所長も理事長もいわれ、僕は悪者扱いで腹の綿が煮えくり返るほつとしましたね。話しかけてきたきつかけを作つたのはあの保護者です。その場の対応しかできないこの保護者は、どのよつな教育を授けてきたのか同じ国民として残念で悲しかったです。無知は怖いですね。ほつとがどんな活動をしているか帰つて実情を通報するまで定たと安兵衛所長は

おつしやいました。安兵衛所長は「手立てをしよう」とこつこつに判断した理解ある人でした。どんな人も受け入れるのが、ほつとの良さです。これも思いやりですね。あの保護者は、毎年来ている「安兵衛所長らほつと」を見習つべきです。校外へ出て路面電車に乗る手前の鉄橋で歩きながらMさんが泣いていらしいました。僕とあの保護者の打ち解けぬ理解のなさに悲しまれたことでしょう。こめんなさい。



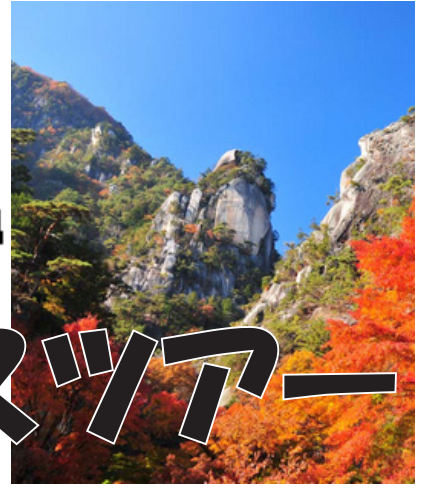
被爆した当時も今も、市電は市民の足。

ほつとは一施設で多様で盛んな活動をしていきます。所長や理事長も設立から今まで途切れることなくほつとを維持存続されたうちの一人です。これまで機関誌の「ほつとニュース」などを続けてきた方々の足跡を辿りつと、僕としても後世までバトンを手渡し盛り上げて行きたいです。思いやる優しさを、恩返しする心とが僕の使命です。施設を増やしたりほつとへ呼び込む職員したり集会に出向いたり、ほつとの活動を日本中に示す役割を担いたいです。

4. 市電

「ほつと」の足

ほつとはみんなから緊張を解く方法を学ぼうと思つたのですが、ほつとへ来る回数(ほつと)はどんな性格の方が在籍して



昇仙峡日帰りバスツアー

松茸と洋梨がおいしかった

山口咲子

2014年10月30日午前8時、JR八王子駅に集合しました。時刻が早かったけど、間に合っていました。

ターミナルからバスに乗って、最初に甲府市内の店で、昼食に松茸ごはん、土瓶蒸しを食べました。秋の味がしておいしかったです。

その後、果樹園に行つて、フルーツ食べ放題をしました。この時期は、ちょうど洋梨のラ・フランスが旬でした。いい香りがしました。これがまた、とても美味しかったです。

帰りにぶどうをもらって帰りましたが、11月上旬になっても、まだ食べてません。



おいしい秋の味、松茸



盛りだくさんなツアー

暗いけどバスの車内の様子です。

キャロル

10月30日、JR八王子駅に集合してバスツアーに出かけました。朝8時の集合でしたが、それほど朝がつかくは感じませんでした。みんな、バスの時間間に合うよう集合したのに、バスの出発が、ちょっと遅れました。でも怒っている訳ではないですよ?'

まずは談合坂サービス・エリアでウィンドウショッピング&一服。甲府に着いて昼食。松茸づくしでした。松茸の香りがとてもよくて、おいしかったです。その後昇仙峡へ行きました。仙娥滝で記念撮影をして、巨峰味のソフトクリームを食べました。美味しかったです。

その後、影絵美術館に行つて無料のお茶とお菓子を堪能しました。その後

いちのみやみさか
一の宮御坂でフランスの食べ放題がありました。普段食べない果物だったけれど、とてもおいしかったです。そこで土産に胡桃を買いました。：アメリカ産だったけど。

勝沼のワイナリーにも寄りましたが、勝沼だけで26ものワイナリーがあつて、どこのメーカーかは忘れませんが、あまりお酒は飲まないクチなのですが、ここは甘口で飲み易かったです。

なんだかんだで、盛りだくさんな楽しい旅行でした。

ワインの試飲を堪能

ほっとスペースのポップ・ティラン

午前八時にほっとの皆でJR八王子駅改札口に集まりました。

クラブツーリズムのツアーに参加しました。全旅程をバスでめぐりました。一番最初に寄った所は、しゃれた店がたくさんありました。ウィンドウショッピングも面白かったですが、僕はそこでソフトクリームを食べました。とても美味しかったです。次に甲府で昼食を摂りました。松茸の土瓶蒸しやきの鍋等を皆でかたまつて食べました。松茸などはめつたに食べられ



影絵の森美術館のメイン、藤城清治さんの作品

ないし、とても美味しかったです。その次は昇仙峡に行きました。影絵の森美術館「葛飾北斎・富嶽三十六景展」を鑑賞しました。観光用に作られた様な美術館みたいでしたが、とても面白かったです。その食堂ではドリンクとお菓子が無料でした。

最後の一つ前は一の宮御坂でラ・フランスの食べ放題30分がありました。ラ・フランスはとても美味しく、腹一杯食べられて満足です。そこで僕は干しぶどうをおみやげに買いました。後で気付いた事ですが、それは中国産だという事が書いてありました。だまされ

ました。最後は勝沼のワイナリーを見学し試飲しました。ワイナリーはとても混んでいましたが、僕は3種類くらい味をみました。そこでワインのロゼをおみやげに買いました。それはまだ家にあって、まだ飲んでいません。喫煙所で一服していたらS先生が話しかけて来ました。僕は25歳で亡くなってしまった同期の友達を思い出してしまいました。僕の故郷が勝沼だったからです。またバスに乗り、帰路につきました。

ツアーということでは何かと忙がしく、団体行動も要求されましたが、エコノミーで楽しい旅行だったと思います。



ワインといえばこの曲。



アメジスト（紫水晶）の原石。

昇仙峡、アメジストという紫水晶が採掘されるそうで、「うちの近所、浅川や多摩川にもどんぶらこ、どんぶらこ」と流れてきたら家計が助かるのになあ」と良からぬ白屋夢を現地に到着するまで、車窓から白雲かすむ富士を肩肘ついて観ていました。

出逢ふ想ひは山に感謝

P. 6000トンチスト

天気、晴れ。一般の方と相席したバスで山梨「昇仙峡」へ。今回は「食」と「情景」のツアーでした。

朝食の土瓶蒸し。具が少なかつたのが残念で、おもむろに、食欲が沸き起こり、「前半はこんなもんかな?」なんて少し不満げな僕でした。

記憶が許す限り、フラフラに酔いどれまで飲んだのを覚えています。やっぱり赤の甘口は、何杯でもイケてましたね。ラ・フランス食べ放題だったので、「包丁や口に果肉がすっと入る食べごろのラ・フランスをお腹を壊さない程度に、満足するまで腹一杯食べました（矛盾?）」



淡き緑に実るはラフランス。

お土産も桃の具沢山プリンを買ったんですが、数を見越してしまい、買いすぎて失敗しました。何はともあれ無事家路につきました。ほっとの皆さん、色々な感性を持った方々に出会え嬉しかったです。これからも、参加します。記念に残る思い出をありがとございました。

衆議院議員選挙と 最高裁判所裁判官国民審査

2014年総選挙まで

去る2014年12月14日を投票日とする衆議院議員選挙(以下総選挙)及び最高裁判所判事国民審査が行われました。今回は2012年の国会におけるいわゆる「0増5減」の意に基づいた475議席(295選挙区・180比例区)で争われました。投票率は52.6%と、戦後最低を記録しました。(評価については後述)その結果、与党(自民・公明党)で計324議席という憲法改正に必要な全議席の3分の2という勝利に終わりました。ただし、自民党は公明前からわずか4議席ではありますが減らしています。今後は無所属の議員、あるいは政党間の移動はあるかもしれません。

総選挙の総括として、投票率の低下を挙げます。原因については相変わらずの政治不信、年の瀬で忙しかったからとか、東北、北陸、四国などの大雪による影響などといった分析がされています。

特集

いろいろな意見はあるでしょうが、筆者の意見は、政治不信どころか興味がないといったTVのインタビューを見て、正直呆れました。自民党の得票率(有効投票数から)は選挙区で48%、比例区で33%とかなりの高率ですが、有権者全体から見れば、約17%にすぎません。要するにそれだけの支持しかないということを報道番組では言っています。逆に言えば、棄権した47%の有権者は、自民党の政策、立法を黙認する、という見方もできます。棄権した有権者は、おそろしくんな意識も政治理念もないと思います。そこが問題です。投票した人たちがよりも棄権した人たちが、棄権する事の意味をよく考えた方がいいと思います。

次に、議席を獲得した各政党について簡単に。まず自民。まずマスコミが飛ばして解散風を吹かし、安倍晋三内閣が取って付けたように「アベノミクス解散」と命名した今回の総選挙。結局勝ったとも負けたともいえない微妙な選挙結果だっ

たと言えます。普通に考えれば、沖縄選挙区で全敗(比例区で復活当選はした)、4つとはいえ議席減など、敗北と位置付けることはできます。時代が時代なら首相辞職もあり得ました。しかし、消費税引き上げや田安に伴うインフレ(むしろスタグフレーション)による消費低迷といった逆風要素だらけの中での結果を踏まえれば、勝利かもしれません。

公明党は勝利と言っています。実際低減税率を公約にしましたが得票数から考えたら微増です。要するに低投票率と組織票頼みの体質は相変わらずという事です。

民進党。議席を増やしました。しかし選挙戦では与党批判ばかり、党首が比例での復活当選もできないといった現状の中では健闘と言えるかもしれません。ただ、与党時代の失政のリカバリーは、当然無理かもしれません。

維新の党。良くも悪くも横ばい。ですが規模から考えたら1議席とはいえ減ら

してしまっただのは大きいかもしれません。やはり「結いの党」の台流を考えると敗北に近いかもしれません。党首による「新・船中の八策」は着手される目途もなく…はつきり言っていて政策がわかりづらいです。

日本共産党。唯一、勝利と言える選挙結果と言えらるでしょう。沖縄で久々の選挙区当選、法案提出権獲得など、前途は洋々々と言えるかは微妙です。これも組織票頼みです…

社民党も現状維持。もはや組織票も期待できず、選挙戦でもやっぱり与党批判と、それでも議席を獲得できるのは大健闘と言っているでしょう。

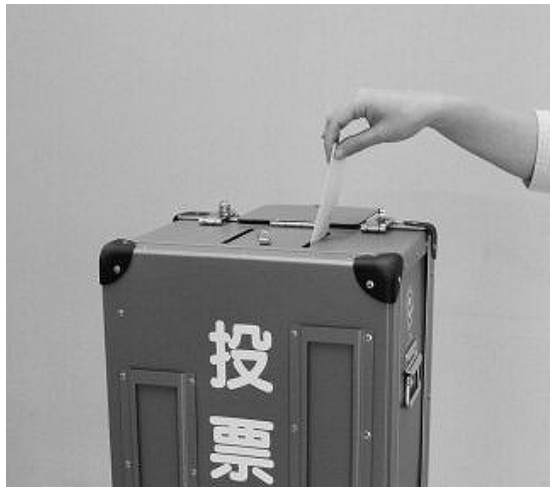
生活の党。以前からですが、もはや党首による「国民の生活が第一」というフ





シーズも空しく響くばかりです。
最後に次世代の党。改選前から17議席を減らすという大敗北ぶり。候補者の調整とか、政策アピールが届かなかったなど敗因は分析されていますが、ネットによる選挙シンクローションでは、若者にも支持はマンブーンだったらしいです。でもそれこそ「たられば」です。次の選挙に向けて(つぎればの話ですが)立て直して図った方がどう思いますが…
他には「みんなの党」解体、新党改革と幸福実現党は議席を得られず、これら「メンブーン」はあきらめません。
最後に。ほかでも書いたのですが、「投票したって何も変わらない」ということは、「投票しなくても何も変わらない」に

はなりません。逆に与党による政策の黙認でも受け取られかねません。とあるゲームで、「被害者になるほうが楽なのだ、奴ら(庶民)は進んで弱者になるのだよ」「支配されるという特権だけ与えればいい。すべては我々が管理する」といったユアンスのやりとりがありました。なんだか今の社会状況を言い表しているようです。このゲーム、1990年代半ばの作品です。そこから変わっていない、或いは悪くなっているかもしれません。少しは前に進みましょう。何度でも書きますが、一票は無効ではありません。
あと、もう一つ。最高裁判事の国民審査について。過去、国民審査において罷免された裁判官はいません。選挙に比べればマスコミの注目度も低いから国民も注目しない…果たしてどうでしょうか。



なんとなく、裁判官という職業に対して一種の畏怖の念があるような気がします。要は「触らぬ神に祟りなし」で空白票を投じる人も多いのではないのでしょうか。審査される裁判官に対しては、過去どんな裁判に関わって、どんな判決、あるいは意見を出したかというところを少しでも興味を持った方がいいかもしれません。司法を監視するという国民の権利は行使しましょう。

野党にがんばってほしい

野党に投票するのが当然でしょう。私が投票した二票はいずれも死票になってしまいました。どうして有権者の多くは与党に投票するのでしょうか。
アベノミクスも上手く行ってないのに。僕には良く分かりません。小選挙区制、どうにかならないのか。
いずれにしても、与党が大勝してしまったのが今回の総選挙です。
僕がいろいろな事を考慮して野党に投票したのは事実です。少ないけれども望みがあるとするれば、野党の中にも票を伸ばした政党があるという事です。そういう政党に国会で頑張ってもらいたいと思います。
僕は声を大にして言いたいです。野党よ、もっと頑張ってくれ!!これで僕の小意見を終わります。

2014年の総選挙については、ほっとスペースでも事前学習を入念にやっていました。
それに加えて僕は自分で選挙公報を読み、自分で決めて自分の好きな候補及び政党に投票しました。
午前の8時くらいにマンションの近くの小・中学校へ投票に行きました。朝早かった事もあり、途中の通りにも会場にもあまり人影はありませんでした。
選挙の投票の時にいつも思い起こされるのは、自分が一人世帯だということです。
良い相手が居れば、結婚して子供も

ていました。

あんな国会でデモンストレーションしてサーピスのつもりか言い過ぎる発言も国民には煙たがられるし、政治家は変な人ばかりです。政治家なら頂点を登りつめる、ピラミッドのテッドヒートを観てみたいのが、精神障害者である僕からの注文です。それだけ僕ら精神障害者は今を生きる為の明日がないのです。

なけなしのこづかいで今日生きるだけで精一杯です。政治家のような桁違いのお給料は政治家には向きません。一度腹空かしてやってごらんさいよ。悟り開くでしょう。

一秒、一円、無駄にせぬ死にもの狂いでやっている精神障害者を考えたことがありますか？

水路へ転落して身の安否の確認もできないほど、生死をさまよった経験ありますか？

あれだけの頭脳が集中しているにもかかわらず、何もできない東電フクシマもあったもんじゃありません。

社会で偉いのは、この世に生まれた世間の動き、不条理な実情を知らされぬ赤子と戦争のワタチを生涯かけ心で舗装する高齢者、そして、酸いも甘いもかみ分けた先天的、後天的、三障害のみです。

2014年 ほっと望年会

無心で前に進む

M・O

平成二十六年も、まもなく過ぎようとしている。今年も、ほっとスペース八王子の望年会に、お招きしていただいた。

指揮者の齋藤さんが、急病で出られなくなったため、故郷と、花は咲くとの伴奏とエリーゼのためにの独奏をやった。こう言っ小さい会でも、何がキッカで世に出られるかわからない。出席者の中に、来年毎日新聞社に就職すると言う魅力的な女子大生がいた。

2015年はほっとスペース八王子の二十周年にもお招き下さると言う。ありがたい事だ。我々の職業は、お金を得ようと思っただけだ。

私は、世に出たいと思っただけだ、出れると思っただけだ。前にならなければならぬ。前にならなければならぬ。

(M・Oさんは、西東京市からボランティア参加してくださった会員外からの御寄稿となります。今回は本当にありがとうございます)



会場は八王子労政会館

BGM担当無事終了

ほっとスペースのポップ・ティラン

BGMの担当になってKさんと組みましたが、準備段階でなかなかかたどらず、どうなる事やらと思いましたが、前日までに準備が出来、当日も大きな失敗もなく出来た事は大変うれしかったです。

ギターと歌を披露しましたが、特に失敗も無く楽しく演奏出来た事は満足でした。ちなみに、一曲目はポップ・ティランの曲で、二曲目は吉田拓郎の曲でした。

全体的に観ても、それぞれの人達がそれぞれの役割を果たし、成功したと言えるのではないかと思います。BGMの担当を任せていただき、持ち場を離れられず、

食事を満足に摂れなかったのは残念でした。料理の入った皿を持って来てくれたNさんには感謝致します。また、ほっとスペースに戻ってから残った料理を沢山食べてしまったのは言うまでもありません。

ほっとのメンバー全員参加で合唱もやりましたが、本番は二曲とも上手く歌えたとと思います。他の人の出し物もちゃんとやれていたと思います。それぞれの挨拶も上手くやれていたと思います。ビンゴ・ゲームも楽しかったです。マイク・パフォーマンスもそれぞれの人の個性が出ていたと思います。

役割分担があって、準備が大変でしたが、2014年の望年会は成功裏に終わったと思います。



猛特訓の成果はいかに…?

**初めてで緊張したけど
楽しかった**

キャロル

十二月十三日土曜日、八王子労政会館で忘年会がありました。十時前には、ほっとスペースに集まって準備をしました。

前日までにある程度段取りができていて、私は今年（2014年）入会だったので、前年よりも、持っていく物が少ないという事でした。出発まで少々時間があったので、太陽おどりの練習をしました。

十三時ごろ会場に着きましたが、十三時三十分すぎても、忘年会が始まらず、ちよっとやきもきました。

十四時ちょっと前に始まったのですが、その後は、わりとスムーズに進行了たのではないかと思います。

会場には、たぐさんの料理があって、おいしかったです。特に、おいなりさんと、ビーフシチューがおいしかったです。

会の中盤で私の番が来ました。すごく緊張して、練習ではできたことが本番では思うように体が動かなかった気がします。その後ビンゴ大会で、私は、

カラーボールの頭脳パズルみたいなものをもらいました。それから、おのこのマイクパフォーマンス、ここでも私はかなり緊張して、何を言ったか覚えていません。

その後ほっとに戻って、後片付けをして、みんなでカラオケをして帰りました。

楽しかったので次回も参加したいと思いました。

**楽しかったけど
エレクトーン講師が心配**

山口咲子

忘年会に参加するようになって、だいぶ経ったように思います。一昨年末では受付、昨年と今年（2014年）



にぎやかなお囃子でお祭り気分♪

は飾り付けに専念しました。昨年はエレクトーン演奏をしたのですが、今回は止めました。講師のM先生の容態が思わしくないと聞いて、とても心配だからです。早く元気にほっとへ顔を出してほしいです。

今回の料理は、ほっとで作って来た分もあって、盛りだくさんでお腹いっぱいになりました。

後半のビンゴゲームでは腕時計が当たりました。すごく欲しかったというほどの品物ではなかったけれど、嬉しかったです。

ほっとに帰って二次会をやるという話もしていましたが、私は断って帰ることにしました。

今年の望年会も楽しく、また無事に終われてよかったです。



優しいオカリナの音色



司会は大変だったけど

P. 6000トンチスト

今回、初めて司会をやりました。望年会開始のゴーサインを出すのは僕らがやるのだと相方のリネカーさんが「いつ始めましょうか」と声をかけてくださいました。開始時間になっても中々始められませんでした。

開始時間を20分ほどオーバーしましたが、しびれを切らした僕は、リネカーさんを見計らってマイクで語りかけました。すると、Kさんが開会の挨拶を、続いて乾杯の音声をSさんが、駆け出しは遅いもののプログラム通りに進行していき、次から次へとコマが発展していくので流れはつかんだので良かったです。ただ僕は緊張の中、具合を崩し、イベント押す分刻みの中、リネカー



かんぱーい！！

さんが指揮を取っていたいたので助かりました。会食、飲み食い放題で、ころもの中にソーセージが入ってて肉イ奴(?)なアメリカカンドッグを丸々3本胃の中へ。うまかったです。今年の苦勞が半分報われたかのような感覚でした。会食から10分もしない

うちに余興が始まり、全員で合唱したり、お琴のNさん、踊るUFOさん、キャロルさんは練習の成果が出ていて、かっこよかったです。

僕は指もつれながらオカリナを3曲、トリをほっとのボブ・ディランさんがしました。

ピンゴ大会。ガラガラとクジを回し続けました。まず安兵衛さんが誰よりも先に当たりました。くじ運の強いかたでした。運氣が来ているのでしょうか。宝くじ買ったらいかがでしょうか？それはともかく、舌きりスヌメを思い出して、大きいつづらと小さいつづら。どっちにしようか。触れ確めるわけでもなく……、えいや！っと大きいほうを選びました。案の定、僕はバッグが当たった！嬉しかったです。ちょうど欲しかったんですよ。A4のノートPCが入る大きさでした。

最後に「秘密のイベント」何が秘密なんでしょうか。全く知らされていませんでした。フタを開けるとそこには、個々人への今年の苦勞、喜び、来年への抱負の話でした。

カメラを回す安兵衛さん。一人ひとり回って行きます。全体で15分間喋ったでしょうか、最後の集合写真も忘れずに済まし、車でほっとへ。荷物運び。体力のいる力仕事でした。日報書いて

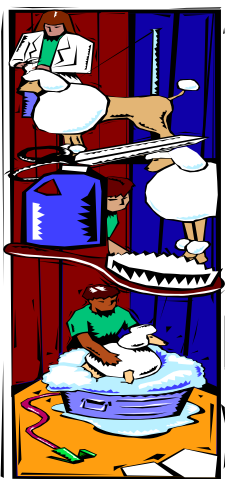


大トリはほっとスペースのボブ・ディランさん

帰りました。

今号ほっとニュースお読みいただいている、皆さんは、いかがでしょうか？精神障害者は波がありますが、耐えて耐えて人生を謳歌おおかしてくださいね。紙面ではかええなくても、意見を言い合える僕らは仲間です。あなた様の投書ここよりお待ち受けしています。

ほっと続投は一人ひとりの支えで成り立っています。あなたがいないと寂しいです。お便り待っています！





食事作りすまた...

孫悟麴

去る事2014年の12月13日土曜日、八王子は労政会館で、望年会を行いました。

毎年恒例なのですが、自分にとって「望年会」はやっぱり「忘年会」になります。

「恥の多い人生を送ってきました」by 太宰治よろしく、忘れたいほど恥ずかしい事ばかりというより、生きていく事自体が恥ずかしいと感じることもちらほらと。

それはさておき、今回は大病を患ったこともあって、段取りはかなり進んだ状態からでした。おかげで司会をやらなくて済んだとはいえますが、あまり大きな問題ではありません。

当初、ケーキを焼く予定でしたが、思わぬ反対意見が出て、中止になりました。これだけでかなりやる気が削がれたのですが、出席者次第では食事が足りなくなると考え、サンドイッチと稲荷寿司を作って持っていくことにしました。しかし多かったです。かといって何も作らなければ、足りなかったかもしれないません。

そんなわけで今回は、乾杯の音頭をして、食べて、ビンゴして...と淡々と終わった感があります。疲れてすぐ帰る予定でしたが、ほっとに戻ってカラオケをやったかなり遅くなってしまいました。次回は何を言われようとケーキを焼こうと思っています。



次こそ、ケーキ!



東京農大 収穫祭

キャロル

十一月一日(土)、ほっとのSさんと二人で東京農大の学園祭「収穫祭」に行きました。

前々日はほっとで日帰り旅行だったので、特に疲れが溜まるでなく、集合時間にも間に合いました。

京王八王子から乗り換え乗り換えで小田急の経堂駅けいどうえきから徒歩で行きました。その日はあいにくの雨だったので、傘はきちんとは用意してきました。

道中、Sさんが昔行ったことのあるという「東京ロシア語学院」を通りました。通りを曲がって城門風の校門をくぐれば、そこはもうお祭りでした。

行き道のすがら、大根を持った人たちと何人もすれ違ったので、まずは大

根の配布場へと急ぎましたが、配布終了でした。残念。たくさん出ている部活の屋台を見ながら、昼食は学食で食べました。値段の割にボリュームもあって、おいしかったです。その後、各ゼミや部活の展示物を見て廻ったりしました。

屋台の食べ物については、学食で食事してしまったので、特に買おうとは思わなかったのですが、お土産に買うかと思っていた味噌や醤油、漬物などは行列がすごかったので断念しました。

雨だったので、昼食を摂ったらすぐに帰る予定でしたが、牛や豚やウサギやアヒルや鶏を見ていたら3時過ぎにいました。3時半くらいに経堂駅近くのドトールでお茶をして、4時過ぎに経堂から電車に乗って帰りました。



大きな牛がいました

久し振りの経堂
初めての農大収穫祭

孫悟麴

2014年11月1日、ほっとの会員Kさんと世田谷は経堂にある東京農大の学園祭、通称「収穫祭」に行つてまいりました。

Kさんは、9月から通い始めた新入会員さんですが、もう何年か通っているかのような、そんなような親しみがあります。9時に京王八王子駅で待ち合わせ、明大前で井の頭線、上北沢で小田急線に乗り換え経堂駅下車。駅前は相変わらず道幅が狭く、混み込みました感じです。下車した時から「農大的」な空気は醸成されていたのですが、思ひのほかから農大までは遠かったです。農大通りを抜けて、最近では珍しくなくなってきた都内

の田園風景を折れると校門があつて、造り付けの城門が設置されていました。朝から怪しい天気だったのですが、農大到着直前に降り出しました。慌てて対雨準備をする人たち。手作りの神輿がいくつも雨に濡れて並んでいました。入場してパンフをもらい、ダメもとで大根配布会場へ。案の定ダメでした。やっぱり開場と同時に入場するくらいでない。

しかし中には大根目当てだけでもらつて即行帰宅という図太いのもいると考えると…雨の中、屋台はどこも行列というより、黒山の人のたかりといった風情です。例えば、大教回系のS大学なんかの文化祭も、人だらけゴミだらけになります。「どこもそんなもんなんだなあ」と感心しつつ学食へ。

屋台でこまこまと買つて空腹を満たすのがだいご味でしょうが、手取り早く学食へ。安くてボリュームがあつてという学食バンザイ。しかしそしたら屋台で買いたいという気になりませんでした。歳は取りたくないもんです。

昼食後大教室棟へ移動。窓から校庭を見ると、人影はなく、屋台の周りに集中しています。美術部や漫研、アニメ研、文芸部、オリピック研究会などを見学してこれで目的の大半は達成。帰ろうかと思いましたが農大と言えば…その家畜。校門まで戻る道中を左に切れ

て…いました、牛さんが。さらに奥には小型の豚さんやあひるさんやウサギさんやヤギさんや鶏さんや…触りたかったのですが自分より家畜に予期せぬ感染症を与えかねないので断念。人も多かったです。

帰りがけ、Kさんとドールコーヒールで一休み。感想を述べ合つたりとか。よく考えたら経堂には馬事公苑もありました。見たかったです。

でも雨だったし仕方ないです。また次回も行こうかとも思つたり思わなかったり。本当は3日に府中刑務所で文化祭に行く予定でしたが断念。

そのときは6日から入院が控えていたし…東海大八王子病院には2泊3日入院しましたがそれについてはいずれまた。



農大で落書きをしてきた孫悟麴。今回「ツインテールのメイドさん」だとか。

P. 6000さん
から記事2本

頂きました

文学フリマ

P. 6000トンチスト

ええ、行つて参りました!「第十九回文学フリマIN東京流通センター」(イエー、パチパチ…喝采と拍手)

K事業所の友人Tさんと現地で待ち合わせ。まずまずの天候で……。室内なので関係ないか……。それはともかく活気あふれる会場でした。

一階と二階にブースがあり、会場ではひしめくコーナーに日本の各大学、個人で出店する新参者の方など、フィクション、ノンフィクションを始め、ポエトリー、文芸批評など色々な書籍が目白押しでした。

スタンプを押すと景品がもらえるとあるので、スタンプラリーに参加しました。俄然来たからは「2元を取るぞ!」と、鼻息フンフン野心むき出して会場を歩き倒しました。結局5つスタンプを押して、一冊の本を頂きました。これもまたオリジナル本です。た

だ装丁がラノベ大手の某出版社風でした。

何もかもが新鮮で、文章とはこうあるべきだという確たる決まりはないのだということがわかりました。というのは、これだけの分量が一度に集まり、みんな執筆しているのを見ると、表紙にこだわったり、メッセージを吹き込んだり、コスプレしたりと、その場何が売りのかが良くわかりました。つまり、眼でかけ声で楽しませること、お客様に心から喜んでくれるもの作り、ほんの一瞬かもしれない出会いを大切にすることが、学生から心の波動が伝わりました。

僕は、結構、生真面目なので精神障害者の身分で救われた思いでした。

三時間で会場を後にすると、それにしてはTさんが言つにも、

「買ったより無料でもらった冊子の方が量が多いこと」

大漁(?)でチャックがヒーヒー言うバッグに思い出と一緒に詰め込んで新宿のサイゼリアへ。一時間ほどですが、二人で戦利品を思いのだけ

「どんな作品、ありましたか?」

と散らばっていた本をでたために積み荷して「この量、読み終わるのに次回の文フリまで間に合いませんな(笑)」とTさん。僕は僕で「宝で宝を作る素



べったんべったん 体も暖まりました

材・手段になる!」と喜び、今の時期どんな傾向にあるのか、視点が参考になりました。

ほっと納会。

P. 6000トンチスト

外履き、室内履き用意。2Fから1Fほっと駐車場へキャロルさんとYさん、三人で、縦にイナスマ状にひび割れた手入れのない臼と木槌のような(先が叩き潰れた?)重さ違う杵2本運び出し気づけば針が11時。設置に腕に重し……。ほんとは、杵を2Fから放り投げ落とす荒技にどうかと、ベランダ越しでいざ!踏み込んだ瞬間、腕つかまれてヤメマシタ(笑)。搦くごとに木屑が餅に絡みつく。ビデオ

うっかり回し忘れたと2Fへエレベータと階段使い向かって息が上がる。「やっば歳?」34にもなるとカタが来ますよ。打ち身は引かないし、傷口も膿んだり……。ああ、若い頃に戻りたいな」なんてブツブツ愚痴を不満げに。2F食事の用意を孫悟麺さんが台所、長テーブルを行き来する。僕は邪魔かと迂回。ワンフロアの隔たりのない事務室では、安兵衛さんがPCとにらめっこ。師走だけになんだかみんな時間に追われてる。それだけ険しい顔してて余裕なく人手不足なんすね。

今月後半に入りこの納会に女性職員

のTさんが、研修期間だということと、来所されました。喜ばしいことです。同僚にHさんも事務作業助かると、らららんと目を輝かせていたな

あ。ほっとは規模としては小さいですが、会員は約20名で力を合わせれば、耕耘機並みにパワフルです。その最後のシメをこの納会で、記憶に残る1

ページを耕そうと、ビデオで様子を撮影しました。今回スームも多用しました。技術的な部分はアマ線ですが、アマなりのヘタウマ感があります。撮れない場合もあるので、確実に取れているか、何度も確認しました。思ったより10分くらい撮れました。取れ

高はバッチリでした。役割分担できる

ことがほっとの強みで、それぞれ担当して気がかりに思うほどトラブルなく良かったです。

粉まみれた机が真っ白だったのは驚いたけど。キャロルさん、杵つき手が餅だらけで、かわいそうでした。記念に残るベストショットはほっとがある限り、僕は撮り続けます!映像部門、アマですが、ローカルでもやっていけるような障害者雇用仕事場の提供も募っています。

さあ、2015年も待ったなし! ほっとは邁進します!ご愛顧のほどよろしく、ね!? お手紙頂戴! ファンレター歓迎ですよ(?)

編集後記

▼全国1800人(推定)の「ほっと」読者の皆様、お待たせしました。147号の発行です。

▼今回ようやく、会員以外からの投稿があり、非常にうれしく思っております。それに、原稿の集まりもよく、早く編集することができました。寄稿してくださった皆さん、本当にありがとうございます。

▼次号の予定ですが、今号に掲載しきれなかったぶん(長崎研修旅行など)、韓国旅行などです。社会は迷走しているような感じも受けますが、「ほっと」は迷わず進みます。次号も乞うご期待。(編集部)